

## 昭和58年度 事業の概要

本年度実施した各事業の概要を以下のとおり報告し、皆様の一層の御指導と御協力をお願い致します。

### 浅海増養殖試験（継続）

#### 1 ヒラメの標識放流調査

田辺湾近辺のヒラメの移動・分散・成長等を調べるため、'83年8月と'84年2月にそれぞれ平均全長14.4 cmと27.0 cmの人工種苗を標識放流すると共に資源生態的基礎資料を得るため市場調査も実施した。

#### 2 サザエ標識放流試験

和歌山市加太並びに周参見町里野地先に'80年産人工種苗各1,800個と300個を9月に放流し、成長・分散等を調査した。

#### 3 アワビ類放流効果調査

古座町下田原・津荷地先に'80年11月放流されたクロアワビの成長・分散等について調査した。

#### 4 ヒラメの海面小割網による飼育試験

前年度に引き続き実用的なヒラメ養殖を検討するため、3 m角小割網を用いて海面養殖試験を実施した。

#### 5 サザエ中間育成試験

前年度に引き続きサザエの餌料別飼育試験を実施した。

#### 6 魚病対策指導

本年度病魚持込み件数は78件あり、これらについて魚病診断を行うと共に魚病についての対策指導を行った。

### 種苗生産技術開発研究（継続）

#### 1 ウミギク種苗生産試験

前年度に引き続き種苗生産試験を実施し、総採卵数7,422万粒、得られた孵化幼生は4,967万であり、最長100日間の飼育を行った。

#### 2 シロギス種苗生産試験

今年度より新しく開始した魚種で40尾の親魚より約470万粒の受精卵を得て、孵化仔魚の飼育を試みた。

#### 3 サザエ種苗生産試験

前年度に引き続き採卵試験を実施したが、受精卵が得られたのは1回だけであった。

#### 4 フトミゾエビ種苗生産

前年度に引き続きフトミゾエビの種苗生産を実施し、全長20～25 mmの種苗約10数万尾を生産し、

田辺湾内の数ヶ所に放流した。

#### マダイ配合飼料実用化試験（継続）

前年度に引き続き実施。今年は前年の4区に新しく生餌，沿岸ミール主体のペレット区および高タンパクのモイストペレットの3区を加えて飼料別の成長・血液性状・体成分検査等を実施した。

#### 組織的調査研究活動推進事業（新規）

日高郡美浜町三尾漁協における磯根資源の実態調査を実施するとともに振興策について検討した。

#### 海産魚の防疫対策に関する研究（継続）

ブリ連鎖球菌症原因菌を対象に薬剤浸漬，噴霧，天日乾燥等実用的な消毒方法を検討するとともに養殖現場での飼育技術についての試験を行った。

#### 魚病等実態把握指導等事業（継続）

養殖ブリを対象として，3病種について10件の魚病診断同定試験を実施するとともに水産用医薬品4薬剤各10検体について残留実態調査を実施し，得られた知見に基づいて養殖業者の指導を行った。

#### 回遊性魚類共同放流実験調査事業（継続）

白浜町東富田地先で実施した本事業にかかるマダイ稚魚の中間育成について指導を行った。全長25mmの種苗約100,000尾を受入れ79日間の育成で生残率は53.3%であった。

#### 大規模増殖場造成事業効果調査

イセエビ刺網による試験操業を10回実施するとともに漁業者の共同操業により漁獲されたイセエビについても調査を行ない造成漁場別の効果について検討した。

#### 海域開発基幹事業

海域開発基幹事業により設置された海中施設に藻場造成する目的ではえ縄式にカジメ母藻を展開し，経過を観察・調査した。

#### 関西空港漁業環境影響調査

空港島外囲護岸・周辺域の利用について検討した。